

国民主権

自分の主張や意見をつくる時の評価基準

S

国民主権と自分たちのくらしとの関係について整理することができていて、整理したことを関係付けて、国民主権と自分たちのくらしとの関係から国民主権とはどのようなものかについての考えを書いている。

A

国民主権と自分たちのくらしとの関係について整理することができていて、国民主権とはどのようなものかについての考えを書いている。

B

国民主権と自分たちのくらしとの関係について整理することができているが、国民主権とはどのようなものかについての考えを書けていない。

C

国民主権と自分たちのくらしとの関係について整理することができていない。

具体的な記述の例

「情報の整理と気付き」

大日本帝国憲法の主権は国民ではないから、自分たちのことを自分で決められることができなさそうというちがいがあった。

「自分の考え」

昔と今の憲法について整理したことで、大日本帝国憲法下では国民に主権がなく、自分たちのくらしについて自分たちで決められることができなかったの、今よりも不満や不安があったと思うようになった。

今は選挙で投票することで政治に自分の考えを伝え、くらしやすい社会を実現することができると思った。

「情報の整理と気付き」

大日本帝国憲法の主権は国民ではないから、自分たちのことを自分で決められることができなかったというちがいがあった。

「自分の考え」

大日本帝国憲法は国民が主権ではないから自分たちのことを自分で決められることができなかったけれど、今は選挙を通じて政治に参加することができると思った。

「情報の整理と気付き」

大日本帝国憲法と日本国憲法では主権がちがう。

「自分の考え」

大日本国憲法の主権は国民ではないから自由が少ないと思った。
※説明が不十分

「情報の整理と気付き」

わからない（書けていない）

「自分の考え」

わからない（書けていない）